

宮城県におけるJ-クレジット制度を活用した取組について

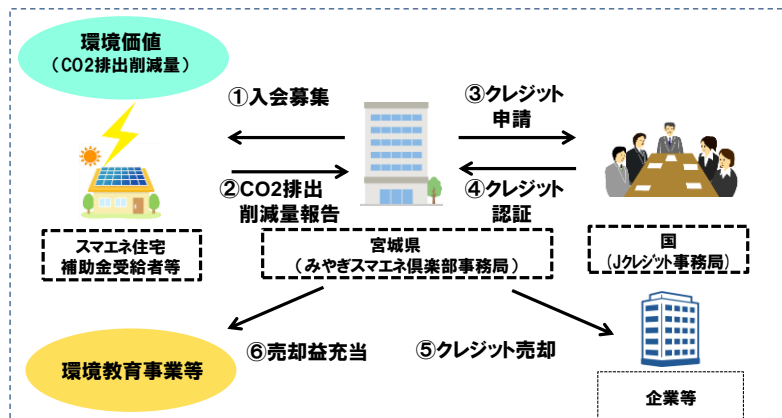
1 取組概要

宮城県では、県民の方々が住宅に設置した太陽光発電設備により生み出されたCO₂排出削減量を環境価値としてとりまとめ、国のJ-クレジット制度（※）を活用し、クレジット化する取組を昨年度から行っております。

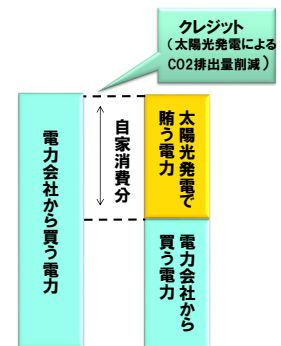
創出されたクレジットは、企業が自らの事業の使用電力を100%再生可能エネルギーで賄うことを目指す「RE100」の達成などの用途に活用することができます。

※ 省エネ設備や再生可能エネルギーの導入によるCO₂排出削減量や、森林管理によるCO₂吸収量を「クレジット」として国が認証する制度

[参考] 取組イメージ等



<クレジットとは？>



2 取組実績等

昨年度、県民の方々からご報告を受けたCO₂排出削減量について、国に対して、クレジット認証申請を行ったところ、下記のとおり、認証を受けました。

(1) クレジット認証量

306t-CO₂

(2) その他

クレジットは、企業等に売却し、その売却益は県の環境教育事業等に活用する予定です。